

■ 目標値未達成の要因について

法人名	公益財団法人大阪府都市整備推進センター
-----	---------------------

〔1〕

成果測定指標	単位	R7年度目標値	R7年度実績値	目標値との差
北千里再開発事業への参画	-	都市計画決定に向けて、生活再建の方向性も含めた地権者の合意を得るとともに、参加組合員の公募条件について、準備組合として(案)を取りまとめる	都市計画決定に向けて、生活再建の方向性も含めた地権者の合意を得たが、参加組合員の公募条件について、準備組合として(案)を取りまとめるに至らなかった	準備組合として公募条件(案)の取りまとめの成否

未達成の要因				要因分析（要因と考える根拠）				要因分析を踏まえた今後の対応			
①	吹田市における都市計画決定手続きの遅れ（当初R7年度末予定が、R8年11月へのずれ込み）			吹田市が表明していたR7年度末（R8. 3）の都市計画決定のスケジュールに基づいて、都市計画決定後、速やかに参加組合員公募を実施できるようR7年度中に公募条件（案）を事務局レベルで作成する予定であったが、R8. 1. 23の準備組合理事会で都市計画決定がR8年11月にずれ込むこととなった。 公募条件（案）をまとめるには、民間事業者（デベロッパー等）の意向を確認しながら、内容を詰めていく必要があり、都市計画決定の時期が遅延したことで、保留床の取得意向や価格等の確度の高い民間事業者への意向確認が困難となった。 結果、民間事業者へのヒアリングを行う等参加組合員の公募条件の検討を進めたが、R7年度内に公募条件（案）を取りまとめるに至らなかった。 都市計画は吹田市が決定するものではあるが、当センターは準備組合の構成員であるとともに、吹田市（地権者）、千里北センター（株）らとともに準備組合の事務局業務を担っており、事務局として事業の進捗管理を行いながら、都市計画決定にあたって、吹田市と協議・調整していく立場にあった。それゆえ、結果として当初の目標の達成が困難となった以上、結果に対する責任については、「その一端がある」ことは逃れえないものと思慮する。				市の都市計画決定手続きに必要な協力、対応を行うとともに、地区センターの大規模地権者として準備組合の事務局運営を通じて、民間事業者の意向確認をはじめとした参加組合員の公募条件の取りまとめなど事業推進に積極的に関与する。			
	関連項目名	-	単位	-	R7当初想定値	-	R7実績値	-	差	-	